

閲覧希望

# みんなの がっこうの どうぶつ

2015年1月中旬  
第9号

発行責任者：公益社団法人 栃木県獣医師会 南支部 学校飼育動物委員 すずき しげゆき  
☎0285(41)0323 fax0285(41)0322  
電子メール [suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)

## この号の内容

- 1 野鳥対策のヒント  
市販の「防鳥ネット」
- 2 根拠に基づく動物飼育  
ねらい
- 3 冬の飼育舎のトラブル

## 1. 野鳥対策のヒント 市販の「防鳥ネット」

この冬も、南から野鳥での高病原性鳥インフルエンザ確認の報告がされる様になってきました。冬休み中、人気がなくなった学校では、野鳥の飛来リスクが高くなったと想像します。しっかりと対策を取られますことをお勧めします。



前号での野鳥対策で、「金網の設置」のお話をしましたが、市販の「防鳥ネット」を利用の方が手頃ですし、設置もしやすいようです。価格も「1m×50m 16mm網目」の防鳥ネットが、安い物では¥1,000～¥2,000で購入できます。

## 2. 根拠に基づく動物飼育 ねらい

★小学校での動物飼育では、子供さんたちが色々な形で色々な頻度で、色々な学年の子供たちが関わっています。

★学年ごとに、動物飼育の「ねらい」を定め、年間を通してどの時期にどの学年がどのように主役になるかの全体像を明らかにすると良い。

ウサギは、いつも子供たちに大人気です。(下図)



小学校での動物飼育では、実際の日々のお世話は、五年生と六年生の「飼育委員会」であったり、「縦割り班」や「登校班」であったりして、各学年の子供さんたちが毎日であったり、年に数回であったり、色々な形で色々な頻度で、色々な学年の子供たちが関わっています。

一年生と二年生では、生活科の授業の中で「ふれあい教室」があったり、三年生と四年生では理科の授業の中で、五年生と六年生では委員会活動の中で動物との関わりが持たれたりしています。



授業でない部分での動物飼育の「目的」や「ねらい」は不鮮明であることが多く、「小学校での“動物飼育のねらい”は何ですか？」とお聞きすると、「ずっと動物がいるから」とか「飼育委員会があるから」といった答えが返ってくることも少なくありません。

授業と同じように、小学校での動物飼育にも、小学校としてはっきりとした「ねらい」を持つことで、動物飼育はより実践的な教育の場所になります。また、「ねらい」を明確にすることで、それを達成するための年間計画を立てやすくなります。[年間計画表](#)

学年ごとに、動物飼育の「ねらい」を定め、年間を通してどの時期にどの学年がどのように主役になるかの全体像を明らかにすると良いでしょう。

### 3. 冬の飼育舎のトラブル

#### 3-1. 衰弱・死亡

★冬の飼育舎で起こるトラブルで一番多いのは、「死亡」するトラブル。

★寒冷対策を取れないならば、巣穴は残して冬を越す。

★飲み水の凍結しっぱなしは、毎日の水交換で防げる。



冬の飼育舎で起こるトラブルで一番多いのは、「死亡」するトラブルです。

死亡する原因の第一が「寒冷による衰弱死」ですが、元々罹患している病気（不正咬合、呼吸器感染症など）があったり、高齢であったりすることが重なることで死亡に至るリスクが高まります。弱っていたり、病気の様でしたら、室内の温かい場所に移して個別にお世話したり、治療をしてあげてください。

以前、「巣穴はどうする？」と題して、巣穴を塞ぐお話を掲載しました。（[みんなのがっこうのどうぶつ 第2号](#)）

巣穴を塞ぐことでのメリットを考えての提案でした。しかしながら、巣穴は寒冷から身を守る場所でもあります。穴を塞ぐと同時に、寒冷に対する対策をしっかりと取っておく必要があります。寒冷対策が充分に取れないようであれば、巣穴を残して冬を越したほうが安全でしょう。

寒冷対策としては、巣箱の設置が大切です。巣箱のサイズは 45 cm × 45 cm × 45 cm 位が良いでしょう。6 面の一面に 20 cm 位の出入り口を作ってあげ、中にワラや新聞紙（シュレッダーで細断した物があると良い）を入れてあげると良いでしょう。

簡易的に段ボール箱を使用するのもよいでしょう。（[巣箱の実際](#)）

#### 3-2. 凍結

冬場は「飲み水の凍結」に注意してください。飲み水が凍っていると当然のことながら動物は飲水できません。

乾燥した牧草やラビットフード、鳥のエサには水分が含まれていないので、十分な水を用意してあげる必要があります。



毎日、飲み水の入れ替えをしてあげると凍りっぱなしを防げます。

毎日の水交換は必ずしてあげてください。



公益社団法人 栃木県獣医師会  
Tochigi Veterinary Medical Association

公益社団法人 栃木県獣医師会  
学校飼育動物委員会

〒320-0032  
栃木県宇都宮市昭和1-1-23

☎0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman\\_02.html](http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman_02.html)



段ボールの巣箱は便利です

#### お楽しみふろく

#### ウサギの抱き方の動画



#### [ウサギの抱っこの仕方](#)

